

(Windows 8 Version)

Excel 2013-04-実践



体系学習★初歩からのPCテキスト

第1章: ユーザー定義の表示形式	5
§1-1… 数値の基本表示形式・「#」の利用	5
§1-2… 「0」を表示させる表示形式.....	6
§1-3… 小数点の桁数.....	8
§1-4… 強制桁表示.....	9
§1-5… 文字列の表示形式.....	11
§1-6… まとめ.....	12
§1-7… 練習問題(数値と文字列).....	12
§1-8… 桁区切りの表示形式.....	13
§1-9… 千円単位にする.....	14
§1-10… パーセントの表示形式.....	16
§1-11… まとめ.....	17
§1-12… 練習問題(桁区切りとパーセント).....	18
§1-13… 日付の表示形式.....	19
§1-14… 元号と和暦の書式記号.....	21
§1-15… 曜日の書式記号.....	23
§1-16… まとめ.....	24
§1-17… 練習問題(日付).....	25
§1-18… 表示形式記号一覧表.....	26
第2章: 条件付き書式.....	27
§2-1… データバー.....	27
§2-2… データバーの調整.....	28
§2-3… アイコンセット.....	30
§2-4… 条件付き書式のクリア.....	32
§2-5… 条件付き書式.....	33
§2-6… ルールの変更.....	34
§2-7… 相対参照の条件付き書式.....	37
§2-8… ルールの追加.....	39
§2-9… まとめ.....	41
§2-10… 練習問題.....	42
§2-11… 練習問題.....	43
第3章: 複雑な並べ替えと小計行の作成.....	45
§3-1… 準備と並べ替えの復習.....	45
§3-2… [ユーザー設定の並べ替え]を使う.....	47
§3-3… 色を使った並べ替え.....	49
§3-4… 小計の基本的な考え方.....	52
§3-5… 小計の失敗例.....	56
§3-6… 正しい小計の使い方.....	59
§3-7… 2段階以上の集計.....	61
§3-8… まとめ.....	64
§3-9… 練習問題.....	65

§3-10… 練習問題.....	70
第4章: 印刷設定.....	72
§4-1… インターネット上にある表・テーブルを取り込む	72
§4-2… 枠線の設定	75
§4-3… 印刷順序・ページの方法.....	78
§4-4… 置換を利用した書式の変更.....	80
§4-5… 拡大/縮小	82
§4-6… ヘッダー/フッターに文字を印字させる	85
§4-7… フッターと[ページ番号]フィールド	87
§4-8… その他の[ヘッダー/フッター]ボタン	89
§4-9… ページレイアウトビューで印刷イメージを確認	94
§4-10… セルにコメント・メモを入れる	96
§4-11… コメントを印刷対象とする	97
§4-12… 印刷範囲の設定と印刷時の中央寄せ	99
§4-13… 印刷範囲を無視した印刷	102
§4-14… 印刷範囲をクリアする	104
§4-15… コメントの削除.....	105
§4-16… まとめ.....	105
§4-17… 練習問題.....	106
§4-18… 練習問題.....	110
第5章: 入力規則.....	113
§5-1… 単純な日付の入力規則.....	113
§5-2… 数値の入力規則.....	115
§5-3… 他のセルを参照する入力規則.....	116
§5-4… 入力時メッセージ.....	117
§5-5… リスト型入力規則.....	118
§5-6… セル群を使ったリスト型入力規則.....	119
§5-7… 他のセルのみを判断対象とする入力規則	120
§5-8… 入力規則の強さを変える.....	121
§5-9… 無効データのマーク	124
§5-10… 日本語入力システムのコントロール	124
§5-11… シートの保護.....	128
§5-12… シート保護の例外セルを作成する・[ロック]をオフに	129
§5-13… まとめ.....	131
§5-14… 練習問題.....	131
§5-15… 練習問題.....	133
第6章: 特殊な並べ替え.....	135
§6-1… 連続データ作成の復習.....	135
§6-2… ユーザー設定リストへの追加.....	136
§6-3… セルからユーザー設定リストに登録する	139
§6-4… ユーザー設定リストからの削除.....	141

§6-5… アイテムリストの作成・重複の削除	142
§6-6… ユーザー設定リスト順に並べ替える	143
§6-7… 列方向の並べ替え	146
§6-8… まとめ	149
§6-9… 練習問題	149
第7章: 特殊なグラフ	151
§7-1… 横棒グラフ	151
§7-2… 立体型・3-D グラフ	152
§7-3… 横棒グラフの基点を反転させる	154
§7-4… 円グラフの作成	155
§7-5… 系列全体の選択・1つの要素だけの選択	156
§7-6… 円グラフの回転と要素の切り離し	158
§7-7… 円グラフの展開順序1: 考察	160
§7-8… 円グラフの展開順序2: 修正操作	161
§7-9… 単位の異なる値を縦棒と折れ線で比較する複合グラフ	165
§7-10… セル内にグラフを表示するスパークラインの作成	167
§7-11… スパークラインの調整	168
§7-12… スパークラインの軸	170
§7-13… まとめ	171
§7-14… 練習問題	171
§7-15… 練習問題	176

…  →操作説明

…  →補足説明

- 記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。
- 本書の例題や画面などに登場する企業名や製品名、人名、キャラクター、その他のデータは架空のものです。現実の個人名や企業、製品、イベントを表すものではありません。
- 本文中には™,®マークは明記しておりません。
- 本書は著作権法上の保護を受けております。
- 本書の一部あるいは、全部について、合資会社アルファから文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複製、複製することを禁じます。ただし合資会社アルファから文書による許諾を得た期間は除きます。
- 無断複製、転載は損害賠償、著作権法の罰則の対象になることがあります。
- この教材はMicrosoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
 - ◆ Version No : excel2013-04-実践-140207
 - ◆ 著作・製作 合資会社アルファ
〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 118-2 中山 NS ビル 6F
 - ◆ 発行人 三橋信彦
 - ◆ 定価 -円

第1章:ユーザー定義の表示形式

§ 1-1…数値の基本表示形式・「#」の利用

(1) 以下のような表を作成しましょう。

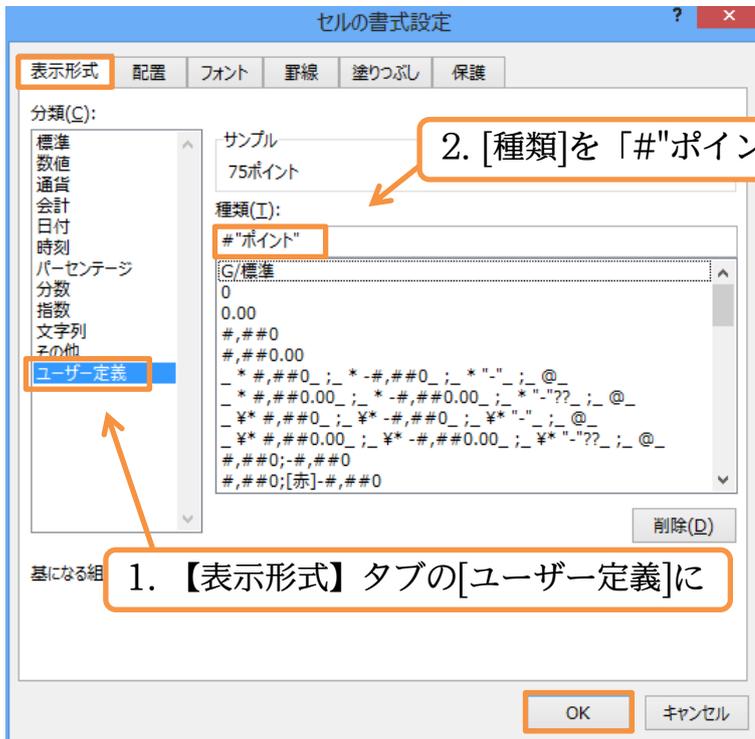
	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント	
3		1428	池田	90	15		
4		357	安川	120	0		
5		4168	沢	65			
6		98	野々村	30	30		
7		515	木村	75	20		
8							

(2) F列には「D列-E列」の計算式を作成します。F3に「=D3-E3」を作成してください。

(3) F3の計算式を7行目までコピーしてください。

(4) ここではF列の数値の見た目(表示形式)を「75 ポイント」のようにするつもりです。数値をオリジナル・独自の見た目(表示形式)にする場合には、[セルの書式設定]の[表示形式]を使います。F3:F7を選択して[数値]ボタンをクリックするか、{Ctrl}+[1]キーを押してください。

- (5) オリジナルの表示形式をセットする際は、【表示形式】タブの[ユーザー定義]を選択します。ここの[種類]欄に設定したい表示形式を登録するのです。「#"ポイント"」と入力してください。記号は必ず「半角」とします。「#」でセルに入力されていた数値を表示させる位置を指定します。その前後に表示させたい文字を「"」で囲んで指定します。「#"ポイント"」とすれば「数値(#)のあとに『ポイント』と表示させる」表示形式の設定は完了です。OK してください。



数値が入る位置を「#」であらわす。
文字データは「"」で囲む。記号は必ず
半角文字とする。

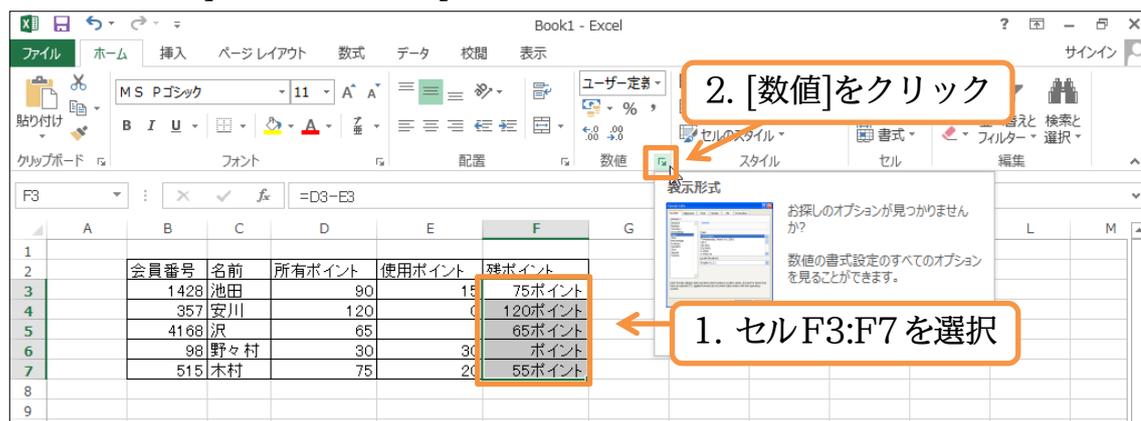
- (6) こうすると F 列の計算結果の見た目が「数値+ポイント」となります。なお計算結果が「0」である個所には「ポイント」だけが表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント							
3		1428	池田	90	15	75ポイント							
4		357	安川	120	0	120ポイント							
5		4168	沢	65		65ポイント							
6		98	野々村	30	30	ポイント							
7		515	木村	75	20	55ポイント							

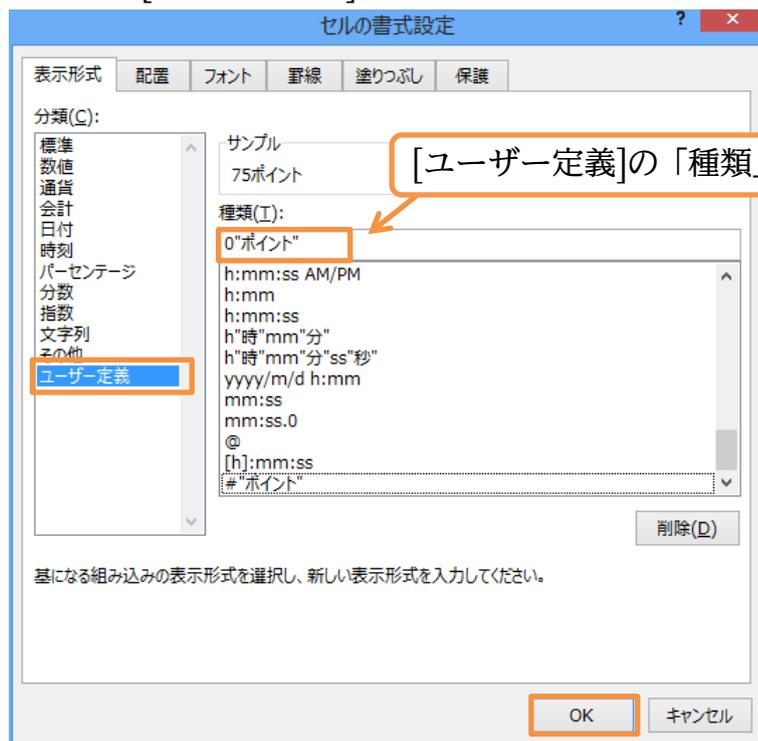
結果が「0」の場合は数値部分
(#部分)が空欄となる

§ 1-2…「0」を表示させる表示形式

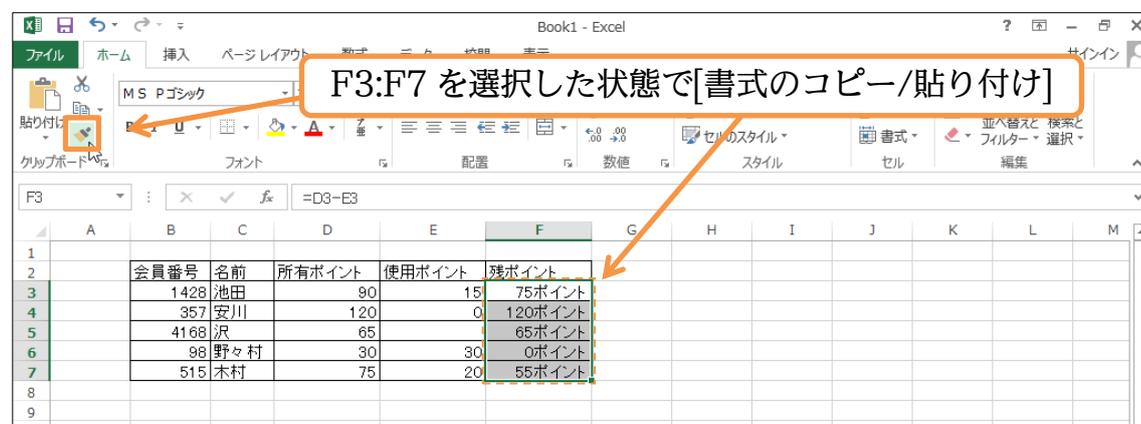
- (1) 今度は計算結果が「0」の時に「0ポイント」と表示させる予定です。まずは F3:F7 を選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。



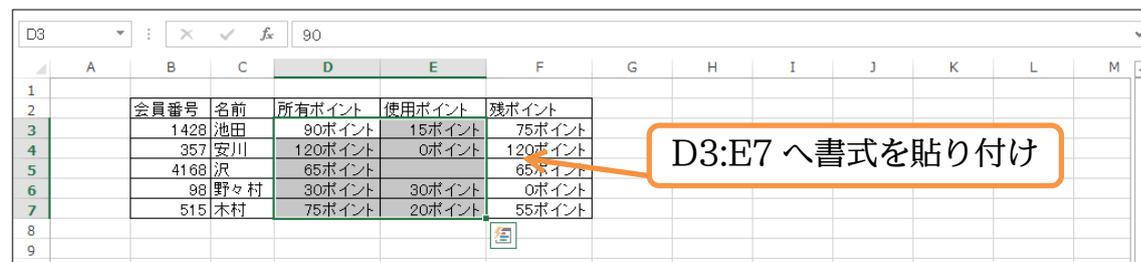
- (2) 先ほどは数値の位置をあらわすのに、「#」記号を使いました。しかし「#」の場合は「0」が表示されません。「0」をしっかりと表示させる際には「#」の代わりに「0」を使います。[ユーザー定義]の「種類」を「0"ポイント"」に変更してOKしてください。



- (3) 「#」も「0」も数値の位置をあらわす書式記号です。ただし、「#」の場合には「0」が表示されないのです。「0」を使えば「0」が表示されます。それではこの書式をD列とE列にコピーします。



- (4) D3:E7へコピーしてください。なお何も入力されていないセルには、「ポイント」も表示されません。



- (5) D列E列は、見た目上「〇〇ポイント」となっていますが、格納されている値は「90」などの数値のみです。格納されている正確な値は数式バーでチェックできます。

	A	B	C	D	E
1					
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント
3		1428	池田	90ポイント	5ポイント
4		357	安川	120ポイント	0ポイント
5		4168	沢	65ポイント	65ポイント
6		98	野々村	30ポイント	30ポイント
7		515	木村	75ポイント	20ポイント

- (6) 表示形式の状態をテストします。D3の値を「90」から「55」に変更してください。数値だけ入力して確定すれば、表示形式を適用した状態で表記されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント							
3		1428	池田	55	15ポイント	40ポイント							
4		357	安川	120ポイント	0ポイント	120ポイント							
5		4168	沢	65ポイント	65ポイント	65ポイント							
6		98	野々村	30ポイント	30ポイント	0ポイント							
7		515	木村	75ポイント	20ポイント	55ポイント							

- (7) このセルに格納されている値は「55」です(数式バーをチェック)。ただし見た目上は「55ポイント」となっています。

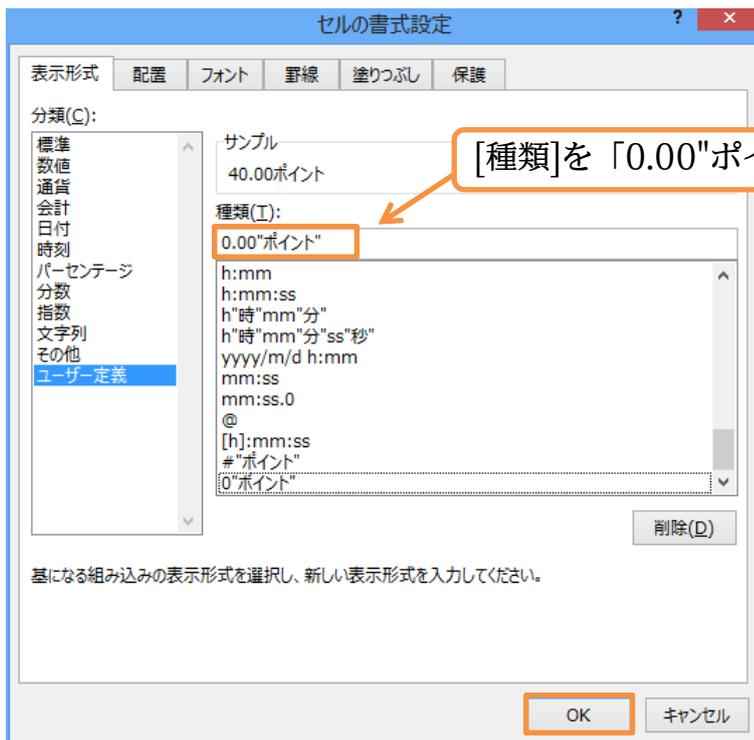
	A	B	C	D	E	F
1						
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント
3		1428	池田	55	15ポイント	40ポイント
4		357	安川	120ポイント	0ポイント	120ポイント
5		4168	沢	65ポイント	65ポイント	65ポイント
6		98	野々村	30ポイント	30ポイント	0ポイント
7		515	木村	75ポイント	20ポイント	55ポイント

§ 1-3…小数点の桁数

- (1) F列のポイントを、「5.00ポイント」のような表示形式にします。小数点2桁まで表示させるのです。選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント	
3		1428	池田	55ポイント	15ポイント	40ポイント	
4		357	安川	120ポイント	0ポイント	120ポイント	
5		4168	沢	65ポイント	65ポイント	65ポイント	
6		98	野々村	30ポイント	30ポイント	0ポイント	
7		515	木村	75ポイント	20ポイント	55ポイント	

- (2) 小数点 2 桁まで表示させたい場合には「0」を「0.00」とします。つまり[種類]を「0.00"ポイント"」とするのです。小数点以下の桁を表示させたい際には、「0」のあとに「.」を入れ、さらにそのあとに表示させたい桁数分だけ「0」を追加するのです。設定後は OK しましょう。



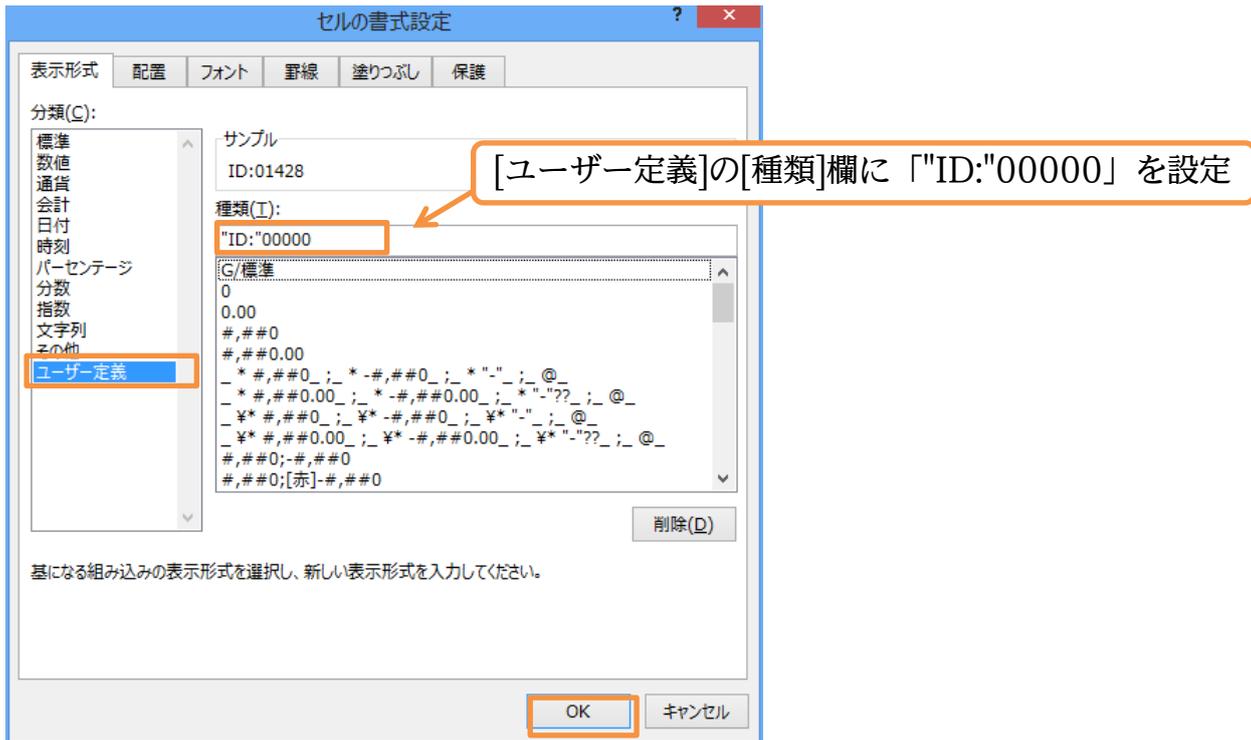
- (3) F 列において、小数点 2 桁まで表示させる設定が完了しました(場合により幅を調整)。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント							
3		1428	池田	55ポイント	15ポイント	40.00ポイント							
4		357	安川	120ポイント	0ポイント	120.00ポイント							
5		4168	沢	65ポイント		65.00ポイント							
6		98	野々村	30ポイント	30ポイント	0.00ポイント							
7		515	木村	75ポイント	20ポイント	55.00ポイント							

§ 1-4…強制桁表示

- (1) B 列には会員番号が入力されています。しかし、桁は揃っていません。今からこれらの番号を無理やり 5 桁で表示させてみます。この設定もオリジナルの表示形式を作成することで可能なのです。

- (2) [ユーザー定義]の[種類]欄に、絶対に表示させたい桁の分だけ「0」を打ちます。今回は絶対に5桁は表示させる設定をするので、「00000」と打ち込みOKします。また数値部の前に「ID:」を表示させる設定も追加します。



- (3) B列においては、4桁以下でも必ず5桁まで表示されるようになりました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント							
3		ID:01428	池田	55ポイント	15ポイント	40.00ポイント							
4		ID:00357	安川	120ポイント	0ポイント	120.00ポイント							
5		ID:04168	沢	65ポイント		65.00ポイント							
6		ID:00098	野々村	30ポイント	30ポイント	0.00ポイント							
7		ID:00515	木村	75ポイント	20ポイント	55.00ポイント							
8													
9													

- (4) なお5桁より大きい数値を入力した場合には、通常通りの表示形式で表示されます。B4に6桁の数値「123456」を入力してみましょう。

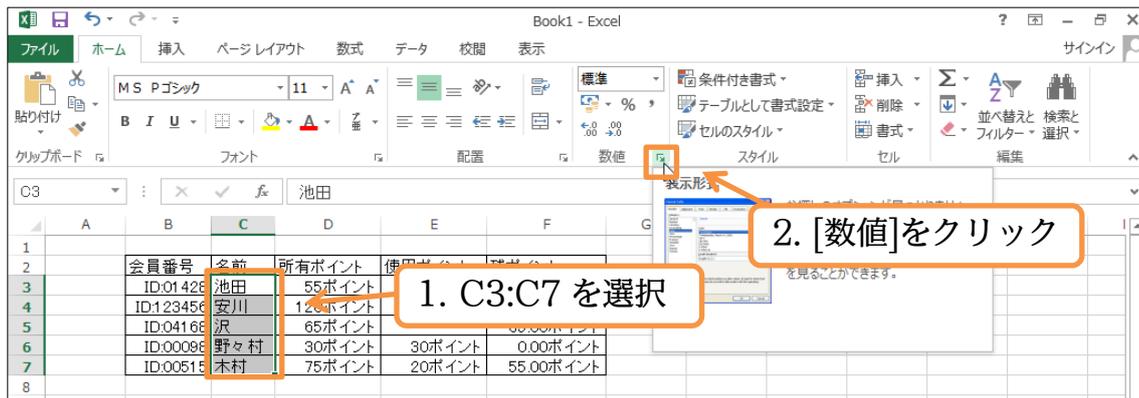
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント							
3		ID:01428	池田	55ポイント	15ポイント	40.00ポイント							
4		123456	安川	120ポイント	0ポイント	120.00ポイント							
5		ID:04168	沢	65ポイント		65.00ポイント							
6		ID:00098	野々村	30ポイント	30ポイント	0.00ポイント							
7		ID:00515	木村	75ポイント	20ポイント	55.00ポイント							
8													
9													

- (5) 5桁より大きい桁の数値を打ち込んだ場合には、その値がそのまま表示されます。

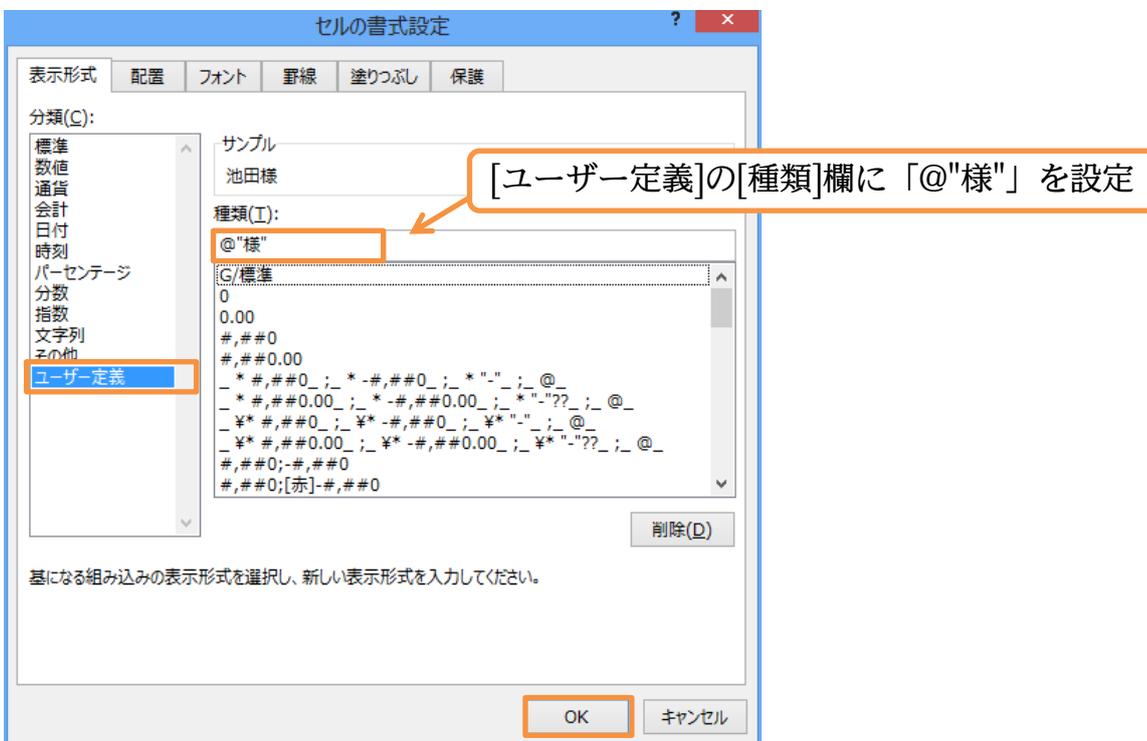
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント							
3		ID:01428	池田	55ポイント	15ポイント	40.00ポイント							
4		ID:123456	安川	120ポイント	0ポイント	120.00ポイント							
5		ID:04168	沢	65ポイント		65.00ポイント							
6		ID:00098	野々村	30ポイント	30ポイント	0.00ポイント							
7		ID:00515	木村	75ポイント	20ポイント	55.00ポイント							
8													
9													

§ 1-5…文字列の表示形式

- (1) 名前が入力済みである C 列の各文字データのあとに、「様」を追加した状態で表示するよう設定してみます。選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。



- (2) 数字の位置は「0」や「#」で指定しましたが、文字の位置は半角の「@」で指定します。表示形式を「@"様"」としましょう。



- (3) 名前欄が「〇〇様」となりました。セルに入力されている値が数値である場合と文字である場合とでは、使用する書式記号が異なるのです。完成後はこのファイルを閉じましょう(必要に応じて保存)。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント						
3		ID:01428	池田様	55ポイント	15ポイント	40.00ポイント						
4		ID:123456	安川様	120ポイント	0ポイント	120.00ポイント						
5		ID:04168	沢様	65ポイント	0ポイント	65.00ポイント						
6		ID:00098	野々村様	30ポイント	30ポイント	0.00ポイント						
7		ID:00515	木村様	75ポイント	20ポイント	55.00ポイント						
8												
9												

§ 1-6…まとめ

- ◆ ユーザー定義の表示形式を作成する際には、数値の位置を半角の「0」または「#」で指定します。
- ◆ 文字の位置は半角の「"」で囲み指定します。「1525」を「1525円」とするならば「0"円"」か「#"円"」と指定するのです。
- ◆ 「0」が入力されているセルや計算結果が「0」のセルで「#」記号を使うと、ゼロ・0が表示されません。
- ◆ 小数点以下の桁数を表示させる場合には、「.」のあとに表示させたいだけゼロ・0を用います。小数点2桁表示ならば、「0.00」です。
- ◆ 「000」のように0を複数回使うと、その桁数分だけ必ず表示されるようになります。
- ◆ 文字の位置をあらわす書式記号は半角の「@」です。

§ 1-7…練習問題(数値と文字列)

- (1) 次のような計算表を作成しましょう。赤字部分は計算で表示させます。下書き入力時には「円」や「人」などの単位は入力しません。下書きの際に入力してしまうと、計算ができないので注意します。

	A	B	C	D	E	F				
1	本日の売上									
2										
3										
4							支店番号	売上	従業員数	一人あたり単価
5							016	850000円	8人	106250円
6							820	630000円	8人	78750円
7							007	1080000円	15人	72000円
8							022	450000円	5人	90000円
9										

- (2) 次のような計算表を作成しましょう。理想体重は「身長²×20÷10000」です。べき乗には「^」(ハットマーク)を使います。

BMI(体格指数)は「体重÷身長÷身長×10000」です。

	A	B	C	D	E	F	G	H						
1	BMI(体格指数)計算表													
2									氏名	身長	体重	理想体重	理想体重との差	BMI
3									青木	155.5cm	42.0kg	48.4kg	-6.4kg	Pt:17.4
4									犬養	150.0cm	45.0kg	45.0kg	0.0kg	Pt:20.0
5									佐々木	178.0cm	66.0kg	63.4kg	2.6kg	Pt:20.8
6									芝原	161.5cm	50.5kg	52.2kg	-1.7kg	Pt:19.4
7														

- (3) 左のように表を作成し、完成後は表示形式を設定することで、右のように変更しましょう。

	A	B	C	D	E			
1	個人情報管理表							
2						氏名	年齢	性別
3						佐野かをり	39	女
4						松下栄治	51	男
5						渡辺真由美	26	女
6						藤本絵里	34	女
7								



	A	B	C	D	E			
1	個人情報管理表							
2						氏名	年齢	性別
3						佐野かをり様	age:39	女性
4						松下栄治様	age:51	男性
5						渡辺真由美様	age:26	女性
6						藤本絵里様	age:34	女性
7								

- (4) 左のように表を作成し、完成後は表示形式を設定することで、右のように変更しましょう。なおハイフン(-)など、演算記号(「+」「-」「/」)と半角カッコ「(」)「)」は二重引用符で囲む必要はありません。

(郵便番号の解: "〒"000-0000) (電話番号の解: 000-000-0000)

	A	B	C	D	E
1					
2		氏名	郵便番号	携帯電話番号	
3		達川	2440003	904842886	
4		君島	2450006	906507911	
5		向井	2450001	906533531	
6					

→

	A	B	C	D	E
1					
2		氏名	郵便番号	携帯電話番号	
3		達川	〒244-0003	090-484-2886	
4		君島	〒245-0006	090-650-7911	
5		向井	〒245-0001	090-653-3531	
6					

§ 1-8…桁区切りの表示形式

- (1) 以下のような表を作成しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2			前月売上	今月売上	売上前月比	前月来客数	今月来客数	来客数前月比	メモ	
3		店舗1	6354700	7439300		6545	5396			
4		店舗2	14576300	15385900		9544	12310			
5		店舗3	5789400	0		7426	0		閉店	
6		店舗4	23408500	17382800		13214	12455			
7		店舗5	1678700	1083200		975	842			
8		店舗6	14674000	18287500		8526	11609			
9										

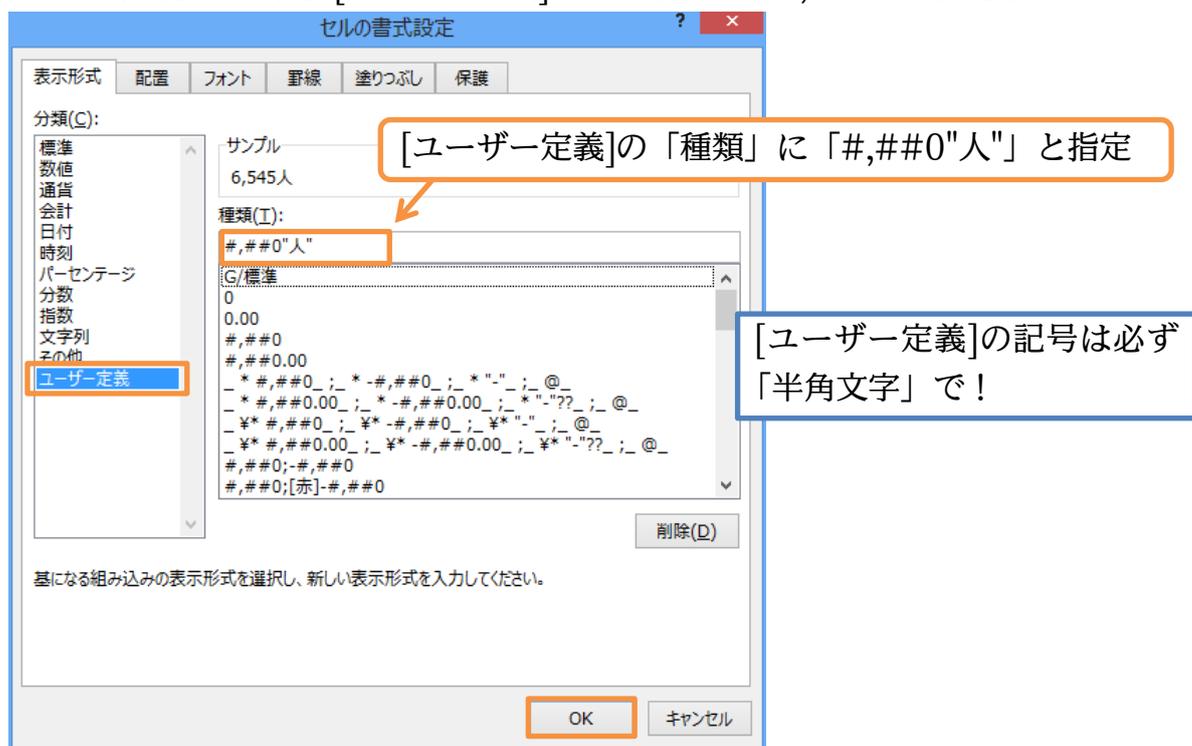
- (2) E列にはD列÷C列、H列にはG列÷F列の計算式を作成してください。今月は前月の何倍だったのかを表示させます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2			前月売上	今月売上	売上前月比	前月来客数	今月来客数	来客数前月比	メモ	
3		店舗1	6354700	7439300	1.17067682	6545	5396	0.824446142		
4		店舗2	14576300	15385900	1.05554222	9544	12310	1.289815591		
5		店舗3	5789400	0	0	7426	0	0	閉店	
6		店舗4	23408500	17382800	0.74258496	13214	12455	0.94256092		
7		店舗5	1678700	1083200	0.64526121	975	842	0.863589744		
8		店舗6	14674000	18287500	1.24625187	8526	11609	1.361599812		

- (3) 今からF列とG列の数値を「6,545人」のような表示形式にしてみます。桁区切りカンマなしならば「0"円"」と指定しますが、今回はカンマありです。選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2			前月売上	今月売上	売上前月比	前月来客数	今月来客数	来客数前月比	メモ	
3		店舗1	6354700	7439300	1.17067682	6545	5396	0.824446142		
4		店舗2	14576300	15385900	1.05554222	9544	12310	1.289815591		
5		店舗3	5789400	0	0	7426	0	0	閉店	
6		店舗4	23408500	17382800	0.74258496	13214	12455	0.94256092		
7		店舗5	1678700	1083200	0.64526121	975	842	0.863589744		
8		店舗6	14674000	18287500	1.24625187	8526	11609	1.361599812		

- (4) 桁区切りカンマありの場合には「0」の代わりに「#,##0」を使います。記号には半角文字を使います。[ユーザー定義]の「種類」に「#,##0"人"」を指定し、OK します。



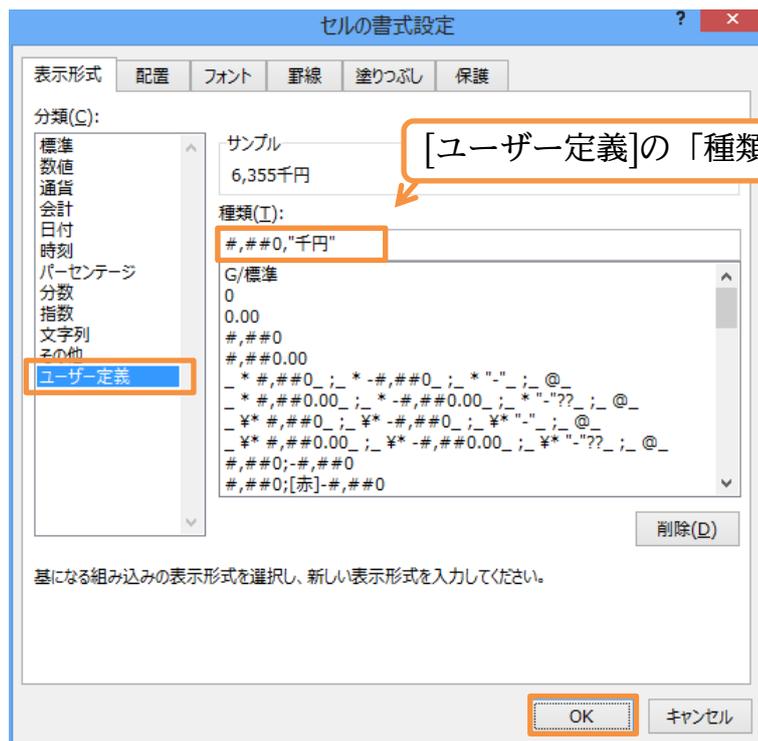
- (5) 「0」の代わりに「#,##0」を使うと桁区切りカンマを表示させることができます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2			前月上	今月上	売上前月比	前月来客数	今月来客数	来客数前月比	メモ			
3		店舗1	6354700	7439300	1.17067682	6,545人	5,396人	0.824446142				
4		店舗2	14576300	15385900	1.05554222	9,544人	12,310人	1.289815591				
5		店舗3	5789400	0	0	7,426人	0人		0閉店			
6		店舗4	23408500	17382800	0.74258496	13,214人	12,455人	0.94256092				
7		店舗5	1678700	1083200	0.64526121	975人	842人	0.863589744				
8		店舗6	14674000	18287500	1.24825187	8,526人	11,609人	1.361599812				

§ 1-9…千円単位にする

- (1) C~D列の数値においては、千円単位で表示させる設定をしてみます。「#,##0」のあとにさらに「,」をつけると「0」が3つ省略されます。C3:D8を選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

(2) 千円単位にする際は、「#,##0」を「#,##0,」とします。最後の「0」のうしろに、さらに「,」を入れるのです。[ユーザー定義]の「種類」に「#,##0,千円」と指定し、OK してください。



(3) C~D 列の表示が、千円単位となりました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2			前月売上	今月売上	売上前月比	前月来客数	今月来客数	来客数前月比	メモ			
3		店舗1	6,355千円	7,439千円	1.17067682	6,545人	5,396人	0.824446142				
4		店舗2	14,576千円	15,386千円	1.06554222	9,544人	12,310人	1.289815591				
5		店舗3	5,789千円	0千円	0	7,426人	0人	0	閉店			
6		店舗4	23,409千円	17,383千円	0.74258496	13,214人	12,455人	0.94256092				
7		店舗5	1,679千円	1,083千円	0.64526121	975人	842人	0.863589744				
8		店舗6	14,674千円	18,288千円	1.24625187	8,526人	11,609人	1.361599812				

千単位 …#,##0,
百万単位…#,##0,,

(4) なおセルに格納されている値には変化ありません。百の位以下が四捨五入された状態で表示されているだけです。C3 で確認しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2			前月売上	今月売上	売上前月比	前月来客数	今月来客数	来客数前月比	メモ			
3		店舗1	6,355千円	7,439千円	1.17067682	6,545人	5,396人	0.824446142				
4		店舗2	14,576千円	15,386千円	1.06554222	9,544人	12,310人	1.289815591				
5		店舗3	5,789千円	0千円	0	7,426人	0人	0	閉店			
6		店舗4	23,409千円	17,383千円	0.74258496	13,214人	12,455人	0.94256092				
7		店舗5	1,679千円	1,083千円	0.64526121	975人	842人	0.863589744				
8		店舗6	14,674千円	18,288千円	1.24625187	8,526人	11,609人	1.361599812				

2. 数式バーで、格納されている値には変化がないことを確認
1. セルC3をアクティブ

§ 1-10…パーセントの表示形式

(1) E列の小数倍率を「約117%」のような形式で表示させます。選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

1. E3:E8 を選択

2. [数値]をクリック

	前月上	今月上	売上前月比	前月来客数	今月来客数	来客数前月比	メモ
店舗1	6,355千円	7,439千円	1.17067682	6,545人	5,396人	0.824446142	
店舗2	14,576千円	15,386千円	1.05554222	9,544人	12,310人	1.289815591	
店舗3	5,789千円	0千円	0	7,426人	0人	0	閉店
店舗4	23,409千円	17,383千円	0.74258496	13,214人	12,455人	0.94256092	
店舗5	1,679千円	1,083千円	0.64526121	975人	842人	0.863589744	
店舗6	14,674千円	18,288千円	1.24625187	8,526人	11,609人	1.361599812	

(2) パーセント表示にする場合には「0%」を使います。[ユーザー定義]の「種類」に「"約"0%」と指定し、OKしてください。

[ユーザー定義]の「種類」に「約0%」と指定

セルの書式設定

表示形式 配置 フォント 罫線 塗りつぶし 保護

分類(C):

- 標準
- 数値
- 通貨
- 会計
- 日付
- 時刻
- パーセンテージ
- 分数
- 指数
- 文字列
- その他
- ユーザー定義

サンプル

約117%

種類(I):

"約"0%

G/標準

0

0.00

#,##0

#,##0.00

#,##0.00

* ,##0 ;_* - ,##0_ ;_* " " ;_* @_

* ,##0.00 ;_* - ,##0.00_ ;_* " " ;_* @_

* * ,##0 ;_* * - ,##0_ ;_* * " " ;_* @_

* * ,##0.00 ;_* * - ,##0.00_ ;_* * " " ;_* @_

#,##0;-#,##0

#,##0;[赤]-#,##0

削除(D)

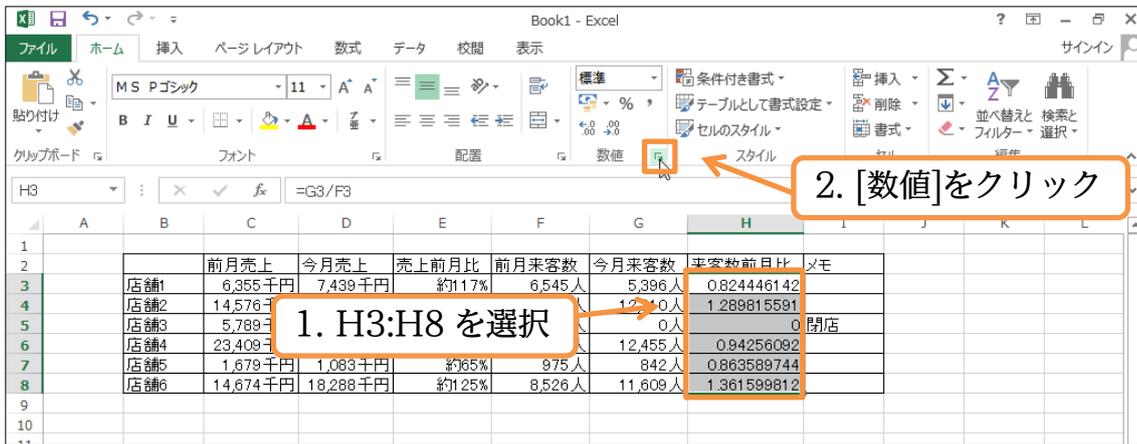
基になる組み込みの表示形式を選択し、新しい表示形式を入力してください。

OK キャンセル

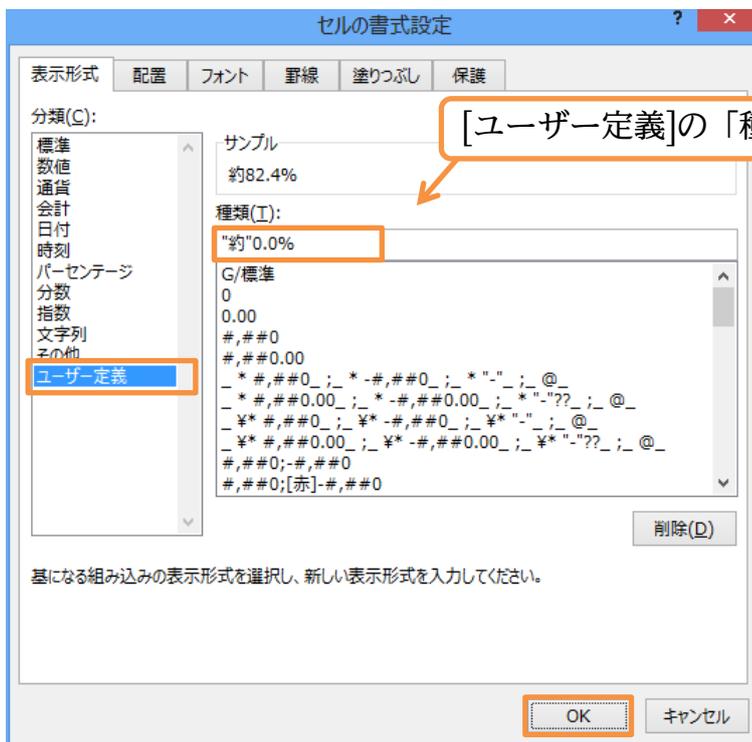
(3) E列の数値に「約」が付き、「%」形式で表示されました(小数点以下は非表示に)。

	前月上	今月上	売上前月比	前月来客数	今月来客数	来客数前月比	メモ
店舗1	6,355千円	7,439千円	約117%	6,545人	5,396人	0.824446142	
店舗2	14,576千円	15,386千円	約106%	9,544人	12,310人	1.289815591	
店舗3	5,789千円	0千円	約0%	7,426人	0人	0	閉店
店舗4	23,409千円	17,383千円	約74%	13,214人	12,455人	0.94256092	
店舗5	1,679千円	1,083千円	約65%	975人	842人	0.863589744	
店舗6	14,674千円	18,288千円	約125%	8,526人	11,609人	1.361599812	

(4) 続けてH列の比率は「約 82.4%」のように小数点 1 桁まで表示させる予定です。



(5) 小数点以下も表示させたい場合には「0.00%」のように、表示させたい桁数だけ小数点のあとに「0」を追加します。今回は 1 桁だけ表示させます。「"約"0.0%」の表示形式を作成してください。



(6) H列の比率が小数点 1 桁までのパーセント形式で表示されました。完成後はこのファイルは閉じましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2			前月売上	今月売上	売上前月比	前月来客数	今月来客数	来客数前月比	メモ			
3		店舗1	6,355千円	7,439千円	約117%	6,545人	5,396人	約82.4%				
4		店舗2	14,576千円	15,386千円	約106%	9,544人	12,310人	約129.0%				
5		店舗3	5,789千円	0千円	約0%	7,426人	0人	約0.0%	閉店			
6		店舗4	23,409千円	17,383千円	約74%	13,214人	12,455人	約94.3%				
7		店舗5	1,679千円	1,063千円	約65%	975人	842人	約86.4%				
8		店舗6	14,674千円	18,288千円	約125%	8,526人	11,609人	約136.2%				

§ 1-11…まとめ

- ◆ ユーザー定義の表示形式において、桁区切りカンマ入りの数値を扱う時には、「#,##0」を uses。
- ◆ 千円単位にする際は「#,##0,」を uses。これでゼロ 3 つが省略されます。
- ◆ 「%」を表示形式に用いれば、数値部分は 100 倍で表示されます。

§ 1-12…練習問題(桁区切りとパーセント)

- (1) 以下のような計算表を作成しましょう。割引率のセル(D10)は変更できるようにします。E10の計算式にはD10の数値を使用するのです。完成したら数量と割引率を変更してみましょう(計算式を完成させてから単位や表示形式を設定した方がわかりやすい)。

	A	B	C	D	E	F
1						
2		商品名	ケース単価	数量	金額	
3		みかん	3,200円	ケース数 8	25,600円	
4		りんご	980円	ケース数 7	6,860円	
5		イチゴ	1,230円	ケース数 12	14,760円	
6		ぶどう	1,640円	ケース数 8	13,120円	
7						
8						
9				小計	60,340円	
10				割引率15%	割引額 9,051円	
11				お支払金額	51,289円	
12						

(変更前)

	A	B	C	D	E	F
1						
2		商品名	ケース単価	数量	金額	
3		みかん	3,200円	ケース数 10	32,000円	
4		りんご	980円	ケース数 4	3,920円	
5		イチゴ	1,230円	ケース数 5	6,150円	
6		ぶどう	1,640円	ケース数 11	18,040円	
7						
8						
9				小計	60,110円	
10				割引率8%	割引額 4,809円	
11				お支払金額	55,301円	
12						

(変更後)

- (2) 次のような計算表を作成しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2			走行距離	稼働日数	1日あたり距離	使用燃料	10あたりの走行距離	
3		レンタカー1	3,875km	14日	約 277km	482ℓ	約 8.0km	
4		レンタカー2	2,246km	25日	約 90km	185ℓ	約 12.1km	
5		レンタカー3	6,831km	59日	約 116km	346ℓ	約 19.7km	
6		レンタカー4	4,531km	59日	約 77km	683ℓ	約 6.6km	
7								

- (3) 次のような計算表を作成しましょう。完成後は右のように[表示形式]を使って変更します。

	A	B	C	D
1				
2		川の名前	長さ	
3		利根川	322,000m	
4		荒川	174,000m	
5		多摩川	138,000m	
6		合計距離	634,000m	
7				



	A	B	C	D
1				
2		川の名前	長さ	
3		利根川	322km	
4		荒川	174km	
5		多摩川	138km	
6		合計距離	634km	
7				

§ 1-13…日付の表示形式

(1) 以下のような表を作成しましょう。

	A	B	C	D
1				
2		名前	誕生日	
3		池田	1977/5/8	
4		安川	1993/12/31	
5		沢	2001/4/8	
6		野々村	1903/10/4	
7		木村	1965/1/24	
8				

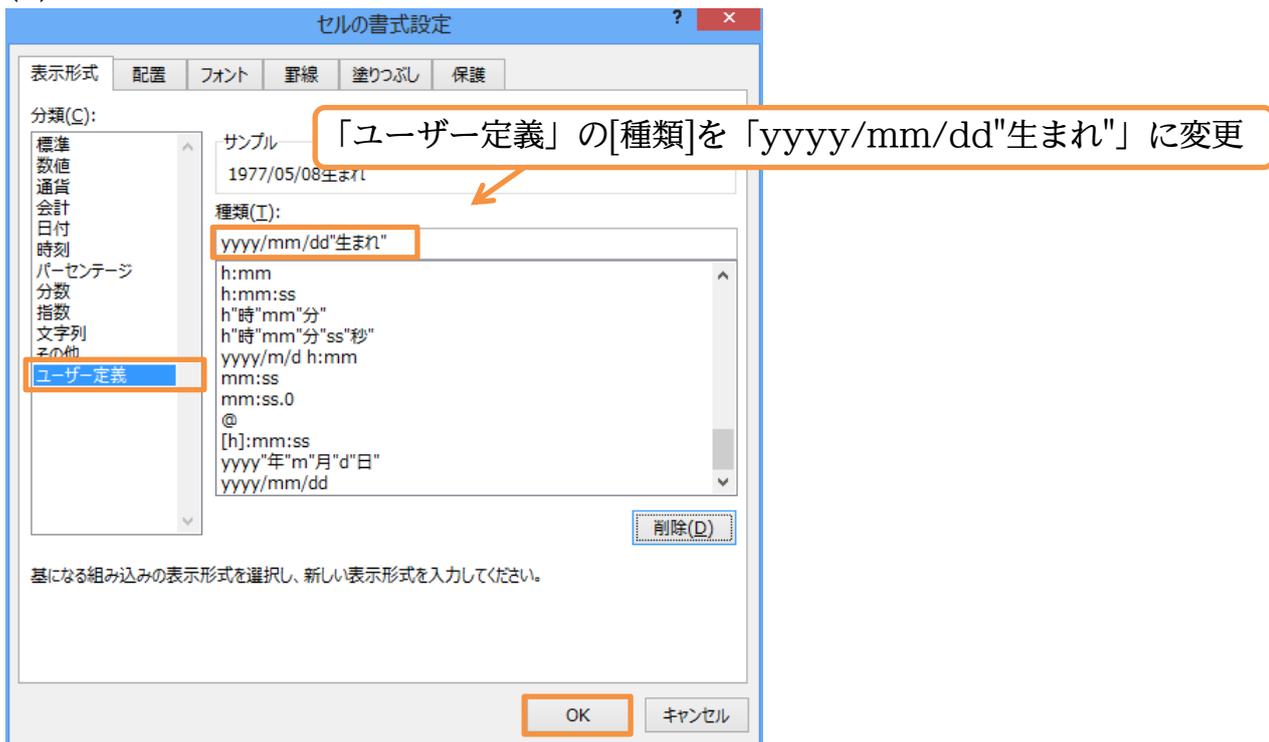
(2) C列の日付データは、1桁と2桁の月・日が混ざっているので揃っていません。今から「1977/05/08」のように、9以下の月や日を2桁であらわす状態に変更してみます。選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

(3) [西暦4桁表示]は「yyyy」であらわします。[月2桁表示]は「mm」、[日2桁表示]は「dd」です。なお1桁表示はそれぞれ「m」「d」となります。ここでは「ユーザー定義」の[種類]を「yyyy/mm/dd」としてOKしましょう。

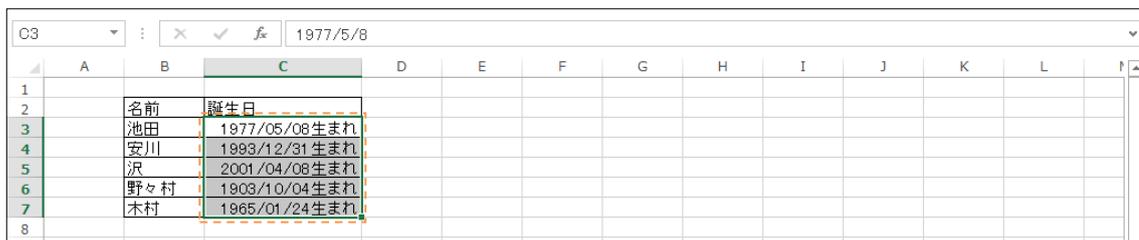
- (4) C列の表示が、「西暦 4桁/月 2桁/日 2桁」となりました。さて、さらに表示形式を変更します。「～生まれ」とする予定です。選択したまま[セルの書式設定]ダイアログを出してください。



- (5) 今ある表示形式記号のあとに「生まれ」を付け OK しましょう。

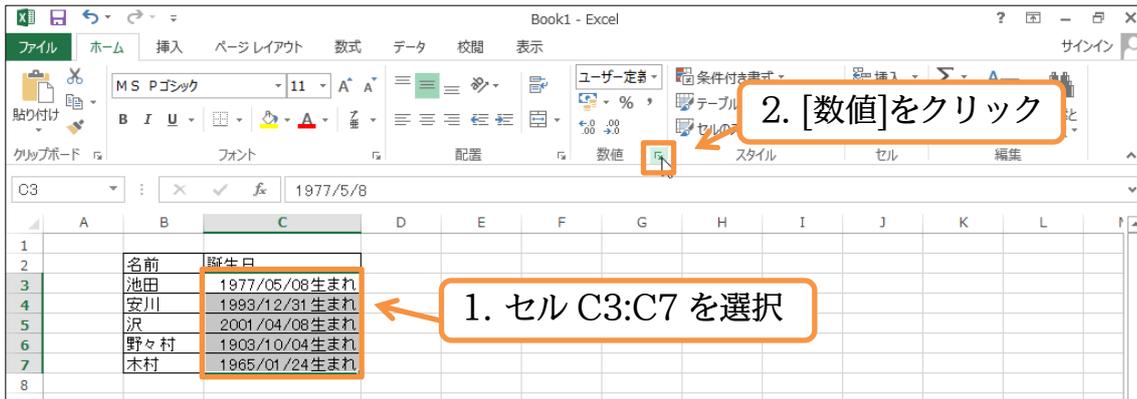


- (6) 修正が完了しました。

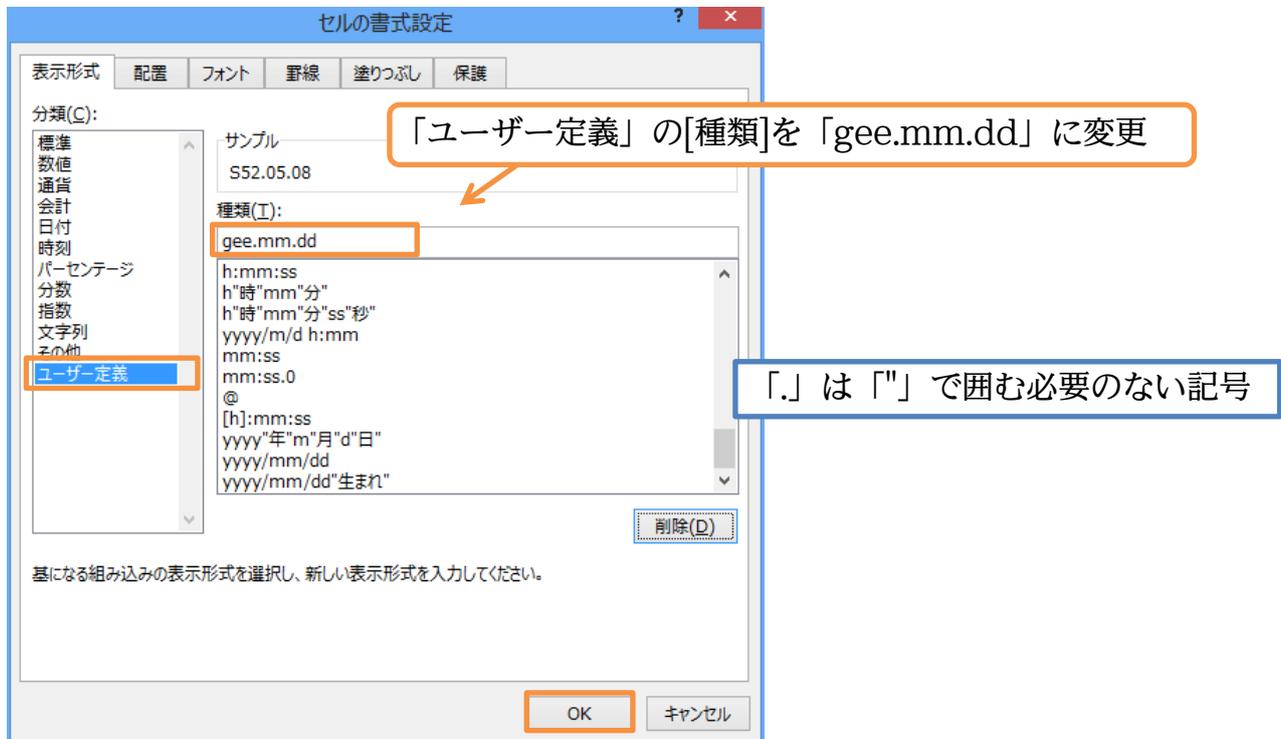


§ 1-14…元号と和暦の書式記号

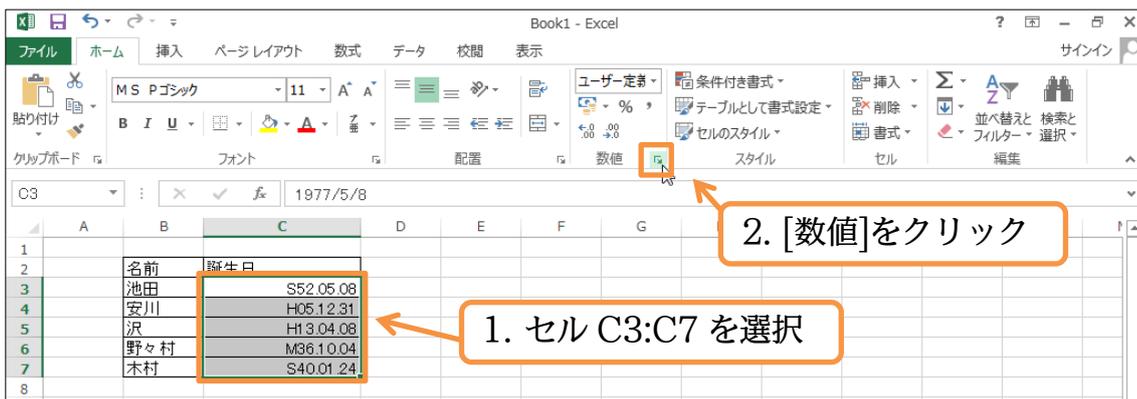
- (1) 「西暦 4 桁」の部分で「S52」のように、「元号+和暦」に変更してみます。選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。



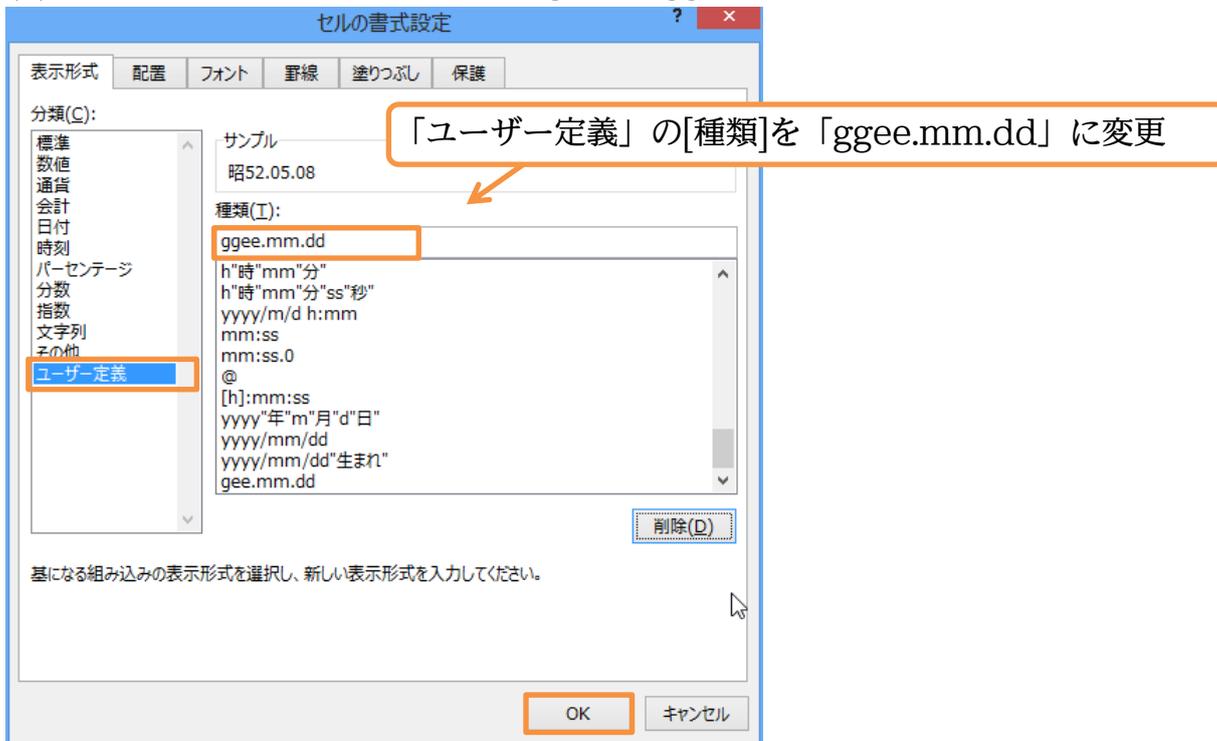
- (2) 「西暦 4 桁」は「yyyy」であらわしました。「S」「H」のような「アルファベットの元号付き」は「g」であらわします。また「52」のような「和暦の年」は「e」であらわします。2 桁なら「ee」です。[種類]を「gee.mm.dd」にして OK してください。「/」は「.」に置き換えます。



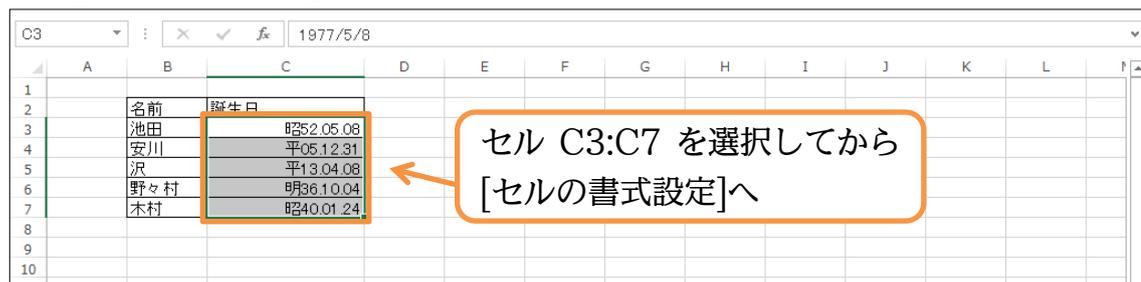
- (3) 和暦で表示されました。さて元号の「g」を「gg」とすると、漢字 1 字の元号になります。変更してみます。



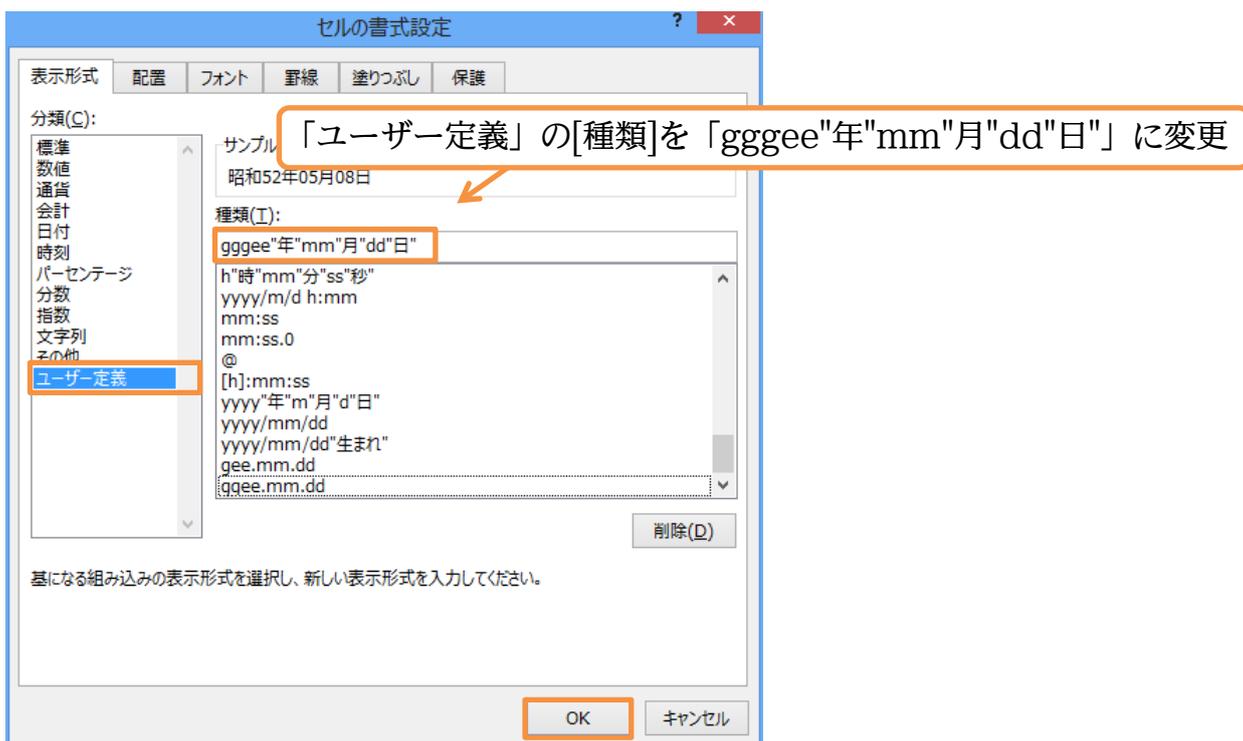
(4) 元号を漢字 1 字に変更します。「g」を「gg」として OK してください。



(5) 元号の部分が 1 文字の漢字で表されました。今度は元号部に「ggg」を使ってみます。
[セルの書式設定]ダイアログを出してください。



(6) 「ggg」を日付データに対して使うと、「平成」のような、漢字 2 字の元号が表示されるようになります。「gg」の部分を「ggg」に変更してください。また「.」の代わりに「年・月・日」を入れてみます。



(7) うまくいったようです。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		名前	誕生日										
3		池田	昭和52年05月08日										
4		安川	平成05年12月31日										
5		沢	平成13年04月08日										
6		野々村	明治36年10月04日										
7		木村	昭和40年01月24日										
8													

§ 1-15…曜日の書式記号

(1) C列の日付セル群に、「曜日」を表示させてみます。選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		名前	誕生日										
3		池田	昭和52年05月08日										
4		安川	平成05年12月31日										
5		沢	平成13年04月08日										
6		野々村	明治36年10月04日										
7		木村	昭和40年01月24日										
8													
9													
10													

セル C3:C7 を選択してから
[セルの書式設定]へ

(2) 曜日を表示させる書式記号は「aaa」です。「木」のように漢字1字で曜日が表示されます。今回は、現在の日付データのあとに、「(aaa)」のように表示させます。以下のよう[種類]を変更してください。

セルの書式設定

表示形式 配置 フォント

分類(C):

標準
数値
通貨
会計
日付
時刻
パーセンテージ
分数
指数
文字列
その他
ユーザー定義

サンプル
昭和52年05月08日(日)

種類(I):
gggee"年"mm"月"dd"日"(aaa)

yyyy/m/d h:mm
mm:ss
mm:ss.0
@
[h]:mm:ss
yyyy"年"m"月"d"日"
yyyy/mm/dd
yyyy/mm/dd"生まれ"
gee.mm.dd
gggee.mm.dd
gggee"年"mm"月"dd"日"

削除(D)

基になる組み込みの表示形式を選択し、新しい表示形式を入力してください。

OK キャンセル

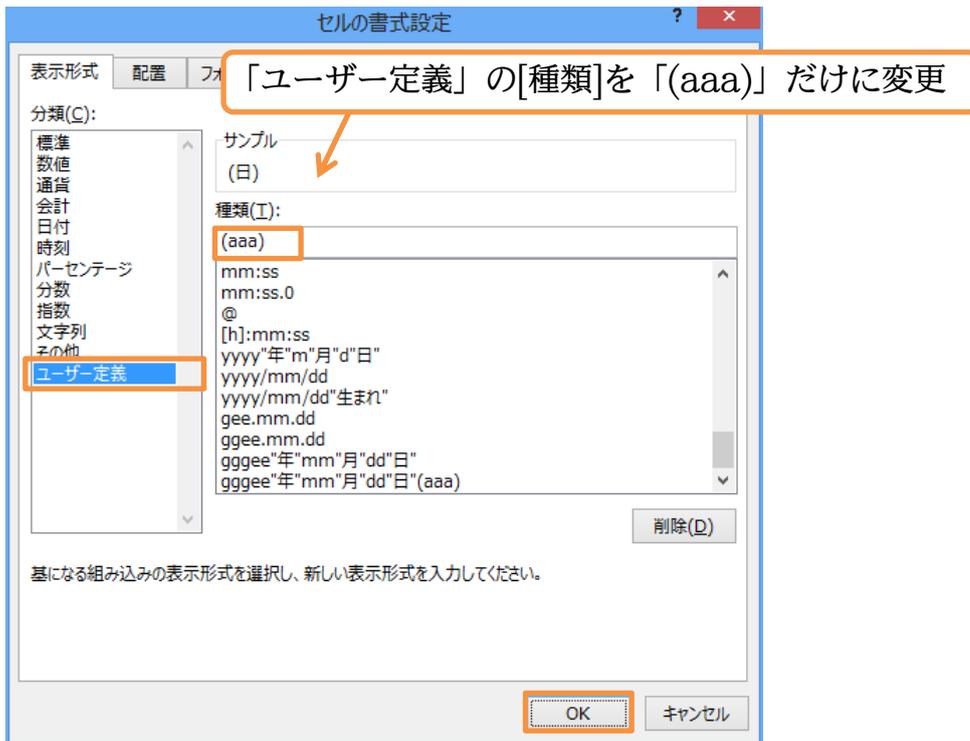
「ユーザー定義」の[種類]を「gggee"年"mm"月"dd"日"(aaa)」に変更

(3) 日付データの後に、カッコ付きで曜日を表示させることができました。なお「日付」を表示させずに、「曜日」だけを表示させることもできます。選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

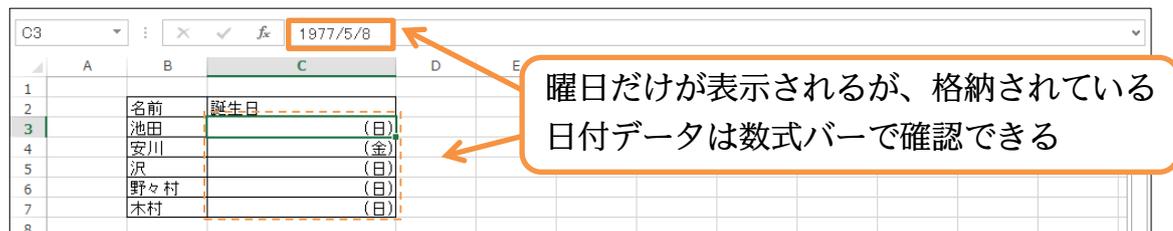
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		名前	誕生日										
3		池田	昭和52年05月08日(日)										
4		安川	平成05年12月31日(金)										
5		沢	平成13年04月08日(日)										
6		野々村	明治36年10月04日(日)										
7		木村	昭和40年01月24日(日)										
8													

セル C3:C7 を選択してから
[セルの書式設定]へ

(4) [種類]を「(aaa)」だけにしてしまいましょう。そうすると、日付データは隠れて見えなくなります。



(5) うまくいったようです。なお[日付]データは消えたわけではありません。隠れているだけです。数式バーを見れば、日付データが残っていることがわかります。完成後はこのファイルを閉じましょう。



§ 1-16…まとめ

- ◆ 西暦 4 桁の年をあらわす書式記号は「yyyy」です。和暦元号においては「g」「gg」「ggg」のいずれかを用います。和暦の年の部分は「e」「ee」を用います。
- ◆ 月をあらわす書式記号は「m」「mm」、日をあらわす書式記号は「d」「dd」です。
- ◆ 曜日をあらわす書式記号は「aaa」です。

§ 1-17…練習問題(日付)

(1) 左のような表を作成し、右のように変更しましょう。

	A	B	C	D
1				
2		出勤日	稼働時間	
3		2002/8/4	4	
4		2002/8/9	5.5	
5		2002/8/13	6	
6		2002/8/18	7	
7		2002/8/25	5	
8		2002/8/26	6	
9		2002/8/27	7	
10		2002/8/30	4	
11				
12		総稼働時間	44.5	
13				

	A	B	C	D
1				
2		出勤日	稼働時間	
3		8/4(日)	4.0時間	
4		8/9(金)	5.5時間	
5		8/13(火)	6.0時間	
6		8/18(日)	7.0時間	
7		8/25(日)	5.0時間	
8		8/26(月)	6.0時間	
9		8/27(火)	7.0時間	
10		8/30(金)	4.0時間	
11				
12		総稼働時間	44.5時間	
13				

(2) 左のような表を作成し、右のように変更しましょう。

	A	B	C	D
1				
2		氏名	誕生日	
3		川崎弘子	1971/3/6	
4		武藤栄治	1955/11/3	
5		佐野雅夫	1963/4/22	
6		黒川しおり	1989/10/25	
7				

	A	B	C	D
1				
2		氏名	誕生日	
3		川崎弘子様	昭和46年3月6日生まれ	
4		武藤栄治様	昭和30年11月3日生まれ	
5		佐野雅夫様	昭和38年4月22日生まれ	
6		黒川しおり様	平成1年10月25日生まれ	
7				

(3) 左のような表を作成し、右のように変更しましょう。ただし、C列にはB列と同じデータが入っています(「=B3」などの式)。

	A	B	C	D
1				
2		日付A	日付B	
3		1984/5/7	1984/5/7	
4		1933/4/21	1933/4/21	
5		1924/11/9	1924/11/9	
6		1965/10/22	1965/10/22	
7				

	A	B	C	D
1				
2		日付A	日付B	
3		S59年05月07日	月曜日	
4		S08年04月21日	金曜日	
5		T13年11月09日	日曜日	
6		S40年10月22日	金曜日	
7				

§ 1-18…表示形式記号一覧表

No.	対象	書式	意味	例
1	数値	#	数字(0は省略)	0⇒空白 1234⇒1234 1.1⇒1
2	数値	0	数字(0も表示)	0⇒0 1234⇒1234 1.1⇒1
3	数値	0.00	小数2桁まで表示	0⇒0.00 1234⇒1234.00 1.1⇒1.10
4	数値	000	数字(0も表示)	0⇒000 1234⇒1234 5⇒005
5	数値	#,##0	3桁区切りカンマ	1234⇒1,234
6	数値	#,##0,	百の位以下非表示	1234567⇒1,234
7	数値	0"人(文字列)"	文字列追加	25⇒25人
8	数値	0%	倍率を%表記に	1.2⇒120% 0.06⇒6% 0.015⇒2%
9	数値	0.0%	小数1桁まで表示	1.2⇒120.0% 0.06⇒6.0% 0.015⇒1.5%
10	文字列	@	文字データ	山⇒山
11	文字列	@"県(文字列)"	文字列追加	神奈川⇒神奈川県
12	日付	yy	西暦2桁	1957/12/06⇒57
13	日付	yyyy	西暦4桁	1957/12/06⇒1957
14	日付	ge	和暦(H13)	2001/12/06⇒H13
15	日付	gge	和暦(平13)	2001/12/06⇒平13
16	日付	ggge	和暦(平成13)	2001/12/06⇒平成13
17	日付	m	月1桁	2001/02/06⇒2
18	日付	mm	月2桁	2001/02/06⇒02
19	日付	d	日1桁	2001/01/06⇒6
20	日付	dd	日2桁	2001/01/06⇒06
21	日付	aaa	曜日	2001/11/30⇒金
22	日付	aaaa	曜日(+曜日)	2001/11/30⇒金曜日
23	時刻	h	時刻1桁	04:06:03⇒4 26:43:08⇒02
24	時刻	hh	時刻2桁	04:06:03⇒04
25	時刻	[h]	24時間以上	26:43:08⇒26
26	時刻	m	分1桁	04:06:03⇒6
27	時刻	mm	分2桁	04:06:03⇒06
28	時刻	s	秒1桁	04:06:03⇒3
29	時刻	ss	秒2桁	04:06:03⇒03
30	分数	#/#	全てを分数	1.5⇒3/2
31	分数	#/4	分母を4に固定	1.5⇒6/4
32	分数	# #/#	帯分数	1.5⇒1 1/2

- ◆ 文字データは「"」で囲みます。「1250」を「1,250 人」と表示したい場合には「#,##0"人"」とします。
- ◆ 半角の「%」を付けると小数值が 100 倍になった状態で表示されます。
- ◆ 半角の「+」「-」「/」「(」「)」「¥」「.」は、「"」で囲む必要はありません。
- ◆ Access の場合は「分」に"n"を使います。
- ◆ 詳しくはヘルプなどを参照ください。

第2章:条件付き書式

§2-1…データバー

(1) 以下のような表を作成しましょう。

	A	B	C	D	E	F
1						
2			昇級基準点		650	
3						
4		氏名	前回点数	今回点数	今回目標点	
5		松本	271	249	260	
6		藤井	575	667	680	
7		金田	456	478	470	
8		仲村	737	725	740	
9		林	507	461	520	
10		小橋	598	627	590	
11		栗山	690	728	700	
12		大崎	214	314	300	
13		与田	318	411	460	
14						

(2) 入力されている数値に合わせて、セル内に小型横棒グラフを表示させることができます。これが「データバー」です。C列にデータバーを作成してみます。C5:C13を選択して、[条件付き書式][データバー]「赤のデータバー」を選択しましょう。

1. C5:C13 を選択

2. [条件付き書式][データバー]「赤のデータバー」を選択

(3) データバーが作成されました。データバーは「0」と「最大値(737点)」を基準に自動作成されます。

「0」と「最大値(737点)」を基準にデータバーが作成された

§ 2-2…データバーの調整

- (1) データバーの範囲を調整します。C5:C13 を選択して、[条件付き書式][ルールの管理]を使います。

1. C5:C13 を選択

2. [条件付き書式][ルールの管理]をクリック

	氏名	前回数点	今回点数	今回目標点
1			昇級基準点	650
2				
3				
4				
5	松本	271	249	260
6	藤井	575	667	680
7	金田	456	478	470
8	仲村	737	725	740
9	林	507	461	590
10	小橋	598	627	520
11	栗山	690	728	700
12	大崎	214	314	300
13	与田	318	411	460

- (2) 「データバー」を選択して[ルールの編集]をします。なおこのテストの点数範囲は「200～800」であるという仮定です。

1. 「データバー」を選択

2. [ルールの編集]

ルール (表示順で適用)	書式	適用先	条件を満たす場合は停止
データバー	[Red to White Gradient]	=\$C\$5:\$C\$13	<input type="checkbox"/>

- (3) [最小値]を「数値」「200」にします。また[最大値]を「数値」「800」にしましょう。そうすれば、200点～800点を基準とした棒グラフが表示されます。また、[塗りつぶし]を「オレンジ」、[枠線の色]を「薄い青」にしてOKしましょう。

書式ルールの編集

ルールの種類を選択してください(S):

- セルの値に基づいてすべてのセルを書式設定
- 指定の値を含むセルだけを書式設定
- 上位または下位に入る値だけを書式設定
- 平均より上または下の値だけを書式設定
- 一意の値または重複する値だけを書式設定
- 数式を使用して、書式設定するセルを決定

ルールの内容を編集してください(E):

セルの値に基づいてすべてのセルを書式設定:

書式スタイル(O): データバー 棒のみ表示(B)

種類(I): 最小値 数値 最大値 数値

値(V): 200 800

バーの外観:

塗りつぶし(E) 色(C) 枠線(R) 色(L)

塗りつぶし (グラデーション) 色(C) 枠線 (実線) 色(L)

負の値と軸(N)... 棒の方向(D): シートの設定に従う

プレビュー: [Color Bar]

OK キャンセル

1. [最小値]を「数値」「200」に、[最大値]を「数値」「800」に

2. [塗りつぶし]を「オレンジ」、[枠線の色]を「薄い青」に

- (4) OK して変更を確定させます。

条件付き書式ルールの管理

書式ルールの表示(S): 現在の選択範囲

新規ルール(N)... ルールの編集(E)... ルールの削除(D)

ルール (表示順で適用)	書式	適用先	条件を満たす場合は停止
データバー	[Color Bar]	= \$C\$5:\$C\$13	<input type="checkbox"/>

OK キャンセル 適用

- (5) データバーが再構築されました(200～800 のデータバーに!).

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2				昇級基準点	650								
3													
4		氏名	前回点数	今回点数	今回目標点								
5		松本	271	249	260								
6		藤井	575	667	680								
7		金田	456	478	470								
8		仲村	737	725	740								
9		林	507	461	520								
10		小橋	588	627	590								
11		栗山	690	728	700								
12		大崎	214	314	300								
13		与田	318	411	460								
14													
15													

§2-3…アイコンセット

- (1) 「アイコンセット」を使うと、セル内の数値に応じたマークが表示されるようになります。[今回点数]に対してやってみます。選択して[条件付き書式][アイコンセット][「3つの信号(枠なし)」]を選択しましょう。上位の値には緑丸が、中位の値には黄丸が、下位の値には赤丸が付きまます。

氏名	前回点数	今回点数	方向
松本	271	249	↑ → ↓
藤井	575	667	↑ → ↓
金田	456	478	↑ → ↓
仲村	737	725	↑ → ↓
林	507	461	↑ → ↓
小橋	598	627	↑ → ↓
栗山	690	728	↑ → ↓
大崎	214	314	↑ → ↓
与田	318	411	↑ → ↓

1. D5:D13 を選択

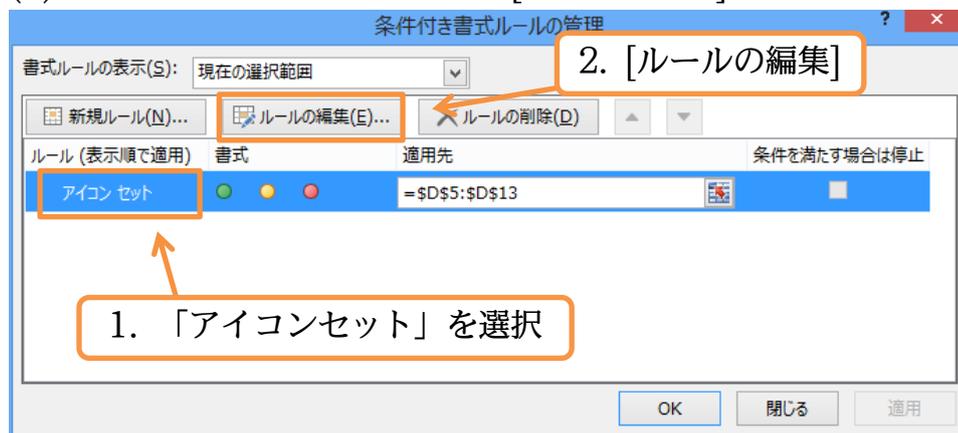
2. [条件付き書式]から[アイコンセット]「3つの信号(枠なし)」を選択

- (2) セルにアイコンセットが付きまました。ここで緑丸、黄丸、赤丸の割合を変えてみます。[条件付き書式]から[ルールの管理]をクリックします。

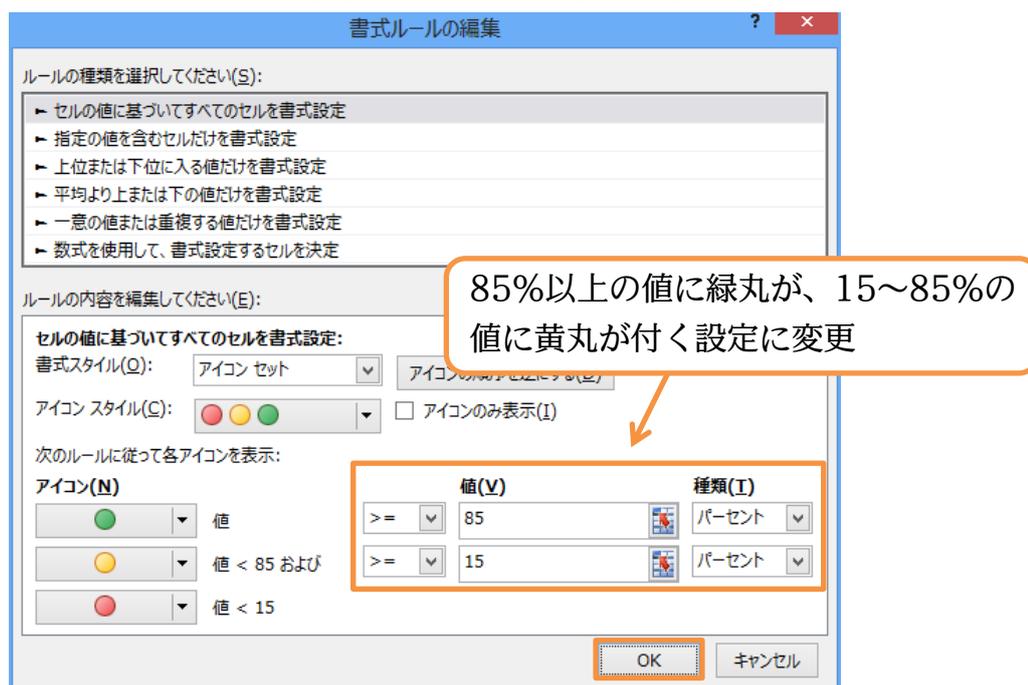
氏名	前回点数	今回点数	今回目標点
松本	271	249	260
藤井	575	667	680
金田	456	478	470
仲村	737	725	740
林	507	461	520
小橋	598	627	590
栗山	690	728	700
大崎	214	314	300
与田	318	411	460

[条件付き書式][ルールの管理]をクリック

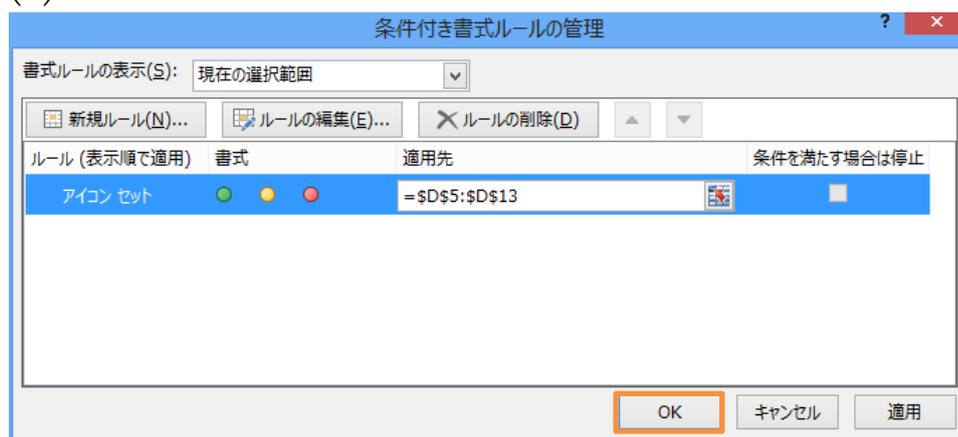
(3) 「アイコンセット」を選択して[ルール編集]をします。



(4) 85%以上(上位 15%)の値に緑丸が、15～85%の値に黄丸が、15%未満の値に赤丸が付く設定に変更します。変更後は OK しましょう。



(5) 変更を確定します。



(6) アイコンセットの状態が更新されました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2				昇級基準点	650								
3													
4		氏名	前回点数	今回点数	今回目標点								
5		松本	271	249	260								
6		藤井	575	667	680								
7		金田	456	478	470								
8		仲村	737	725	740								
9		林	507	461	520								
10		小橋	598	627	590								
11		栗山	690	728	700								
12		大崎	214	314	300								
13		与田	318	411	460								

最小値「249」 = 「0%」、
最大値「728」 = 「100%」として処理されている

§ 2-4…条件付き書式のクリア

- (1) [ルールのクリア]を使うと、データバーやアイコンセットなどの条件付き書式をクリアできます。D列のアイコンセットを解除します。選択して、[条件付き書式][ルールのクリア][選択したセルからルールをクリア]をクリックしましょう。

1. D5:D13 を選択

2. [条件付き書式][ルールのクリア][選択したセルからルールをクリア]をクリック

選択したセルからルールをクリア(S)
シート全体からルールをクリア(E)
このテーブルからルールをクリア(I)
このピボットテーブルからルールをクリア(P)

ルールのクリア(C)
ルールの管理(B)...

- (2) D列の条件付き書式・アイコンセットが削除されました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2				昇級基準点	650								
3													
4		氏名	前回点数	今回点数	今回目標点								
5		松本	271	249	260								
6		藤井	575	667	680								
7		金田	456	478	470								
8		仲村	737	725	740								
9		林	507	461	520								
10		小橋	598	627	590								
11		栗山	690	728	700								
12		大崎	214	314	300								
13		与田	318	411	460								